

平成 30 年 7 月 大泉図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 30 年 7 月 26 日（木） 13 時 10 分から 13 時 50 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 大泉図書館指定管理者（株式会社図書館流通センター）（以下「大」） 大泉図書館長、同館業務従事者（2）、本社スタッフ（2）</p>
内容	<p>施設管理について</p> <p>（光）視聴覚室および会議室の利用状況について （大）利用件数は、利用登録団体の活動回数の増、教科書展示会等の区の事業利用があり、微増した。会議室の閲覧席としての活用は、昨年度試験的に実施したが、継続運用については検討中である。大泉図書館は閲覧席が多く通常は席に余裕があるが、テスト期間中など一時的に人が多くなることもあるため、ご利用いただけるよう考える。</p> <p>（光）熱中症対策等について （大）利用者で具合が悪くなった方はいない。館内の室温は 1 時間ごとに各所に設置した温度計で確認している。会議室、視聴覚室の利用者が自分たちで温度を下げることもあるが、下がりすぎているときは事務室内のコントローラーで室温を調整している。</p> <p>（光）庭園の利用について （大）季節の良い時期は虫や蚊の問題があり難しい。6 月に 1 階庭園で実施した「大泉図書館に花を植えよう！」では、虫よけスプレーや手袋、汚れてもよい服装の準備を案内した。2 階庭園は館内の閲覧席と同じ位置付けとし、子供たちも自由に本を読んでいる。</p> <p>一般事業について</p> <p>（光）5 月実施の「アニメーションワークス@大泉図書館 2018」について （大）「アニメプロジェクト in 大泉 2018」のイベントとして実施した。今年度の大泉図書館のテーマをアニメの仕事とし、一般事業は、練馬区の PR アニメ「タイムカプセル+」の監督をされた宇田鋼之介氏をお呼びしてトークショーを開催した。充実した内容でファンの方も一般の方も満足していただけた。今年お亡くなりになった高畑勲監督の初監督作品を追悼の意味も込めて上映し、盛況だった。児童向けには、練馬区の PR アニメ「タイムカプセル+」の映像を流し、当館オリジナルの台本で参加者が声をあてるアテレコ体験を実施した。親子での参加が多く、楽しんでいただいたと感じている。</p> <p>（光）「トイレ展示（ミニライブラリーニュース）」について （大）毎月テーマを決めて、本を 2 冊紹介するチラシを貼っている。指定管理開始時から継続しており、利用者からは、紹介した本の所在を聞かれることがある。</p> <p>（光）6 月の「大泉ファーマーズマーケット at 大泉図書館」について （大）今年で 3 年目となる。当日の来館者数は 2,000 人を超え、1 年目に次ぐ来館者数となった。図書館の中に入っただけのための連動企画を実施し、新規利用登録者も通常の日曜日の 4 倍となり、かなり新しい方に登録いただいた。今年はファーマーズマーケッ</p>

トに参加している園芸店から無償で花を提供していただけることとなり、「大泉図書館に花を植えよう！」という1階の庭園に花を植える企画を実施した。幅広い年代の方が参加し、園芸体験を楽しめた。

(光)「大泉図書館に花を植えよう！」の実施場所である1階庭園への動線について

(大)園芸体験の前に、園芸店の方に2階視聴覚室で花の説明をしていただいた。通常は一般資料室から出入りするが、ほかの利用者への影響と泥の問題があるため、図書館の外の道路を通り、庭園の通用門から入った。帰りは通用門の内側に泥を落とすマットを置き、図書館の入口まで戻って解散した。

(光)6月、7月開催の「まちゼミねりま」への参加について

(大)主催者である練馬区商店街連合会で広告を出してくれたため、大泉地域以外の区民の方の参加もあった。今年度が初めての参加であり、8月には反省会がある。今回の参加により、10月に豊島園で行われる練馬産業見本市でブッカーかけのデモンストレーションをする話をいただいている。

児童・青少年サービス事業について

(光)展示「どうぞのいす」について

(大)絵本「どうぞのいす」をヒントに、「どうぞ」のリレーを本で実施した。小さな椅子にお薦めの本を置き、本を持っていかれる方は自分のお薦めの本を置く。子供たちの興味にも合致し、かなり本の動きがある。5月からは年間を通して実施する。

(光)学校支援モデル事業の「読書旬間支援」について

(大)小学校はピンゴに記載された分類の本を読むイベント、ブックトーク、アニメーションを実施した。大泉学園中学校は、6月の1週間、給食の時間に支援員が校内放送で本の紹介をした。支援員が訪問しない日は原稿を放送委員に渡して本の紹介をしていただいた。

その他

(光)5月に参加した「大泉西中避難拠点運営連絡会」について

(大)大泉西中学校は大泉図書館最寄りの避難拠点であり、医療救護所でもある。今回、大泉西中学校が改築工事に入るため、今後の運営、図書館の対応について確認をした。関係者と図書館スタッフが顔を合わせることができ有意義だった。図書館に配布されるチラシを確認し、地域に関わるものはなるべく参加するようにしている。

(光)シルバー人材センターの活用、障害者就労施設等からの物品等の調達について

(大)区から依頼を受け検討をしたが、発注できるものがなかなかない。

(光)引き続きご検討いただきたい。

(光)6月の「キャレル席」の表示が専門用語であるという苦情について

(大)開館当初から館内の一部の席をキャレル席と表示しているが、今まで専門用語であるといったご意見をいただいたことはなかった。大泉図書館のキャレル席(独立した個人席)は、コンセント付きで机の両端に仕切りがある。利用時間を2時間までとして、他の席と区別をしている。